



活動紹介 **復興した被災地をご案内しました**

6月14日(水)、大阪大司教区の22名の方々が、東北巡礼ツアーとして大船渡に来てくださいました。

午前9時にバスでベースに到着し、ベースの紹介の後、津波の様子DVDを視聴していただき、教会へ移動してミサ。移動中に今回の津波の高さを実感して頂きました。ベースに戻ってバスに乗り、大船渡から陸前高田へ向かう途中に、同乗したベース長が復興した街並みの説明や震災当時のお話をしました。皆さん関心を持って、熱心に聞いてくださいました。



高田松原津波復興祈念公園では、全員で海に向かって津波の犠牲者に祈りを捧げ、その後、奇跡の一本松の前で集合写真を撮り、道の駅で買物をし、津波伝承館を見学して、次の訪問地に向かって出発しました。

17日(土)には同教区の14名の方々が、釜石から三陸鉄道の「震災学習列車」を利用して盛駅に着き、岩手県交通のバスに乗り換えてベースに到着しました。こちらのツアーも同じコースでご案内しました。被災地の事を変わず心に留めてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

活動紹介 **折り紙で楽しく脳トレ♪**

今回は『折り紙サロン』でお伺いしました。指先を動かして紙を折ることは、脳により多くの刺激を伝えて、活性化につながるのだそうです。いつも元気ハツラツな皆さんですが、さらにパワーアップしていただけたらと企画してみました。

男性の参加者の方にも楽しんでいただけるように、短時間で無理なく簡単に出来るものとして、『クルクル回る万華鏡』『蓮の花の菓子皿』『変身手裏剣』『バラの花飾り』などを用意して、お好きな物を選んでいただきました。幼い頃から慣れ親しんでこられたであろう女性陣は心配ないとして、男性陣は苦戦するかも？と想像していたら、あ



っという間に大輪の黄色いバラの花を作り上げてニコリ。「せっかくだが、こごさかざっぺ！」と、さっそく集会室の壁に飾って下さいました。

年齢を問わずに楽しめるのが折り紙の良いところ。地域の子ども達との交流にも役立てていただけたらと思います。



活動紹介 **わたしだけの一輪挿しを**

6月28日(水)、東京の深大寺陶芸教室より3名の先生をお迎えして一輪挿し作りを開催しました。コロナ前は年に1度のペースで数回お世話になっていて、毎回大人気でした。今回もサロンに参加している方々に声掛けすると15名の参加があり、リピーターの方もいらっしゃいました。

はじめに、先生が実際に作りながら手順や注意点の説明をしてくださり、いよいよ制作開始。粘土が手渡されると指定の大きさまで伸ばすバンバンという音がベース中に響きました。自分のイメージを形にしようと時々先生にアドバイスをいただきながら一生懸命作業をしている姿はとても真剣で、生き生きとしていました。形が整うと、最後に仕上がりの色を4種類の釉薬から選び作業は終了しました。



皆さんの作品は東京で仕上げてください、手元に届くのは約1ヶ月後の予定です。皆さんが作った唯一無二の一輪挿し。出来上がりが今からとても楽しみです。

**2023年6月の活動紹介**

紹介した活動のほかに、6/11(日)に行なわれた居場所ハウスさんの10周年記念式典の中で当ベーススタッフが作成した紙芝居が披露され、みんなで見に行きました。素晴らしい仕上がりでした。

- 6日(火) 海の星幼稚園 ほしっ子クラブ 地域支援 個人宅庭園
- 13日(火) 海の星幼稚園 ほしっ子クラブ 地域支援 気仙大工左官伝承館
- 14日(水) 平南アパートサロン 『折り紙』東北巡礼ツアー ミサ・被災地見学
- 15日(木) 上山東アパートサロン 『雫の吊るし飾り』作り
- 16日(金) 元気度アップ教室
- 17日(土) 東北巡礼ツアー ミサ・被災地見学
- 20日(火) 海の星幼稚園 ほしっ子クラブ 地域支援 個人宅庭園
- 22日(木) 個人依頼 ワクチン接種付き添い
- 23日(金) ミニ姿勢講座
- 27日(火) 海の星幼稚園 ほしっ子クラブ 地域支援 気仙大工左官伝承館
- 28日(水) 深大寺陶芸教室 『一輪挿し』作り



▲6/14 奇跡の一本松の前で (東北巡礼ツアー)

〈その他の活動〉

- カリタス工房
- カリタス絵手紙の輪
- 玄関先訪問
- 他支援団体 椿の材料作り
- ベース整備

〈毎週の活動〉

- 水曜日…手芸サロン・買物送迎
- 木曜日…カリタススマホ教室 またはスマホなんでも相談室
- 土曜日…買物送迎 中学生のための英語学習会

**被災地に咲く花**  
～ニッコウキスゲ～



今年もニッコウキスゲの花が咲きました。漢字では『日光黄菅』と書き、栃木県日光市にある戦場ヶ原に多く自生していて、花が黄色く、葉がかさずげに似ていることが名前の由来です。キスゲ亜科の多年草で、朝方に花を咲かせ夕方にはしぼんでしまう一日花です。1つの株に数個の蕾がつき、それぞれの蕾が1日ずつ咲くため、長く咲いているように見えます。ニッコウキスゲには、「日々新たに」「心安らぐ人」「晴れた日の喜び」など新しい花を次々と咲かせていく姿が目に見えようような花言葉がついています。

震災後この高台移転場所に住んで7年、初めて見つけた時はほんの1、2本でした。年々少しずつ増えてきて、今年はたくさん花が咲きました。空の青と緑に映えるヤマブキ色のニッコウキスゲが小高い丘に咲き、道行く人を見送ってくれています。来年もきれいな花が咲きますように。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

●被災地見学を予定しておられる皆さまへ

下記URL・QRコードから、大船渡ベースの現在の活動内容をまとめたHPをご覧ください。被災地滞在中の貴重な時間をより有効に活用する為に、ご一読いただければ幸いです。(過去の活動の様子は、ブログのアーカイブにてご確認ください。)

(※一部のスマートフォンでは、文章の段落が崩れて表示される場合があります。)

●カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～

インターネットで『カリタスみちのく』を検索していただくと、カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行なっているページをご覧ください。

●カリタス絵手紙の輪 … 随時参加者を募集しています。

●被災地見学のご案内 … ご希望の方はお問い合わせ下さい。



カリタス大船渡ベース

検索

★<https://sites.google.com/view/oohunatobase/>

ベースからのお知らせ

**大船渡市の中心地の様子 (2023/7/11 撮影)**



震災から **12年4ヶ月**…



ボランティア登録者数

男性 **691**人  
女性 **1391**人

⇒ 合計 **2082**人

◆6月1日～6月30日  
ボランティア数  
男 性: **0**名  
女 性: **1**名